



## 4つの役割

リーダーが果たすべき役割とは何か？

『7つの習慣』の著者・ステイブ・R・コヴィーは、4つの役割①方向性を示す、②組織を整える、

直すこと、③では管理統制から脱皮して、個々人が潜在的可能性を確認し発揮できるように、主体性、自律性を高めるための触発と支援

率先して行い、自らが変化のきっかけをつくることを表している。

## 転期に立つ経営の視座④ 自分を信じる力を育む

③エンパワーメントを進める、④模範になる)を果たすことで影響力を高め、自然に周囲を導くリーダーになれると提唱している。

①は組織のビジョンや価値体系を共有し明確化すること、②は目標に向けてメンバーが行動しやすい仕組みにするように定期的に見

### はやかわ・ひろし

経営コンサルタント。「継業と人材創造塾」主宰。『介護ビジョン』編集委員。介護福祉教育マスター。著書に『99の言葉の杖』(日本医療企画)、『早川浩士の常在学場』(筒井書房)、『介護人材創造塾』(筒井書房)、『介護保険改正に勝つ！経営』(年友企画)、『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』(日本医療企画)など。

HP: <http://www.hayakawa-planning.com>

ブログ: <http://ameblo.jp/hayakawa-planning/>

たとえるならば、自分の周囲が変わらないと何もできないという「アウトサイド・イン」から脱皮して、「インサイド・アウト」という見方を行動で示すということ。すなわち、自身の内面にこびりついたパラダイム(当たり前と思っっていること)を見つめるようにするのだ。

すべては自分の見方次第にある。

## 職場の模範となる行動集

2月23日に、昨年6月から広島のとある法人で行っていた「幹部養成塾」\*1の1年目が終わった。通年課題を「職場の模範となる行動集を考え、草案を練る」と定め、9人から発表があった。そのなかの草案の1つを取り上げたい。

### 1 コツコツと続けること

①○○○\*2の行動指針の徹底(自信をもってできていると言えるようになる)。②相手を思い、心のこもった挨拶をする。③職員の行動変化に気づき、自らコミュニケーションをとるようにする。④日々、何気なく過ごすのではなく変化に気づく努力をする。⑤相手を思いやる気持ちを忘れない。⑥できない言い訳をせず、優先順位を考え計画を立て業務を行う。⑦自分自身が決まりごとや約束を守る。⑧感謝をし、「ありがとうございます」の言葉をかける。

### 2 めざす目的

①基礎を理解し、専門職として努力して行動する。②相手を理解し、ねぎらいや思いやる心を持つ

て接する。③行動の意味や、理由や根拠を理解し、説明できる。

### 3 ひたすら学び続けること

①自信をもって指導できるように学ぶ。②「できない」ではなく、できる方法を考え、探す。③失敗しても対策を考え、前進する。

### 4 楽しむこと

①新しいことを学び、理解し、成長できることを喜ぶ。②成功したことをともに喜ぶ。

### 5 備忘録

自分の基準で評価せず、法人理念に基づいて行動できる人を仕事ができる者とする。そうした評価尺度をつくることで成長感に結びつく風土をつくり、適切な評価尺度で考え批判しないようにする。それぞれの責務とアイデンティティを深く理解する努力をし、専門職として相手を認めることでさらなる成長を促すことができるよう、自分自身も専門職として成長し、リーダーとして認めてもらえるよう努力する。

草案の具現化には、自分を信じる力を育むためのトライアル・アンド・エラーとともに、エラー・アンド・ランという勇気が必要だ。2年目の成長を見守りたい。

\*1: 2016年8月号本稿参照

\*2: ○○○は事業所名が記されているが、あえて伏せた